

令和3年8月10日

各会員 殿

小郡三井医師会
感染症担当理事 橋本 朋也
会長 島田 昇二郎

第16回新型コロナウイルス感染症担当理事者会の連絡

上記の会議で今後の新型コロナウイルス感染症の対策について、福岡県医師会より周知するように言われている内容がありますのでご連絡いたします。記載の資料については別途メールでお送りします。

- ① 現在の福岡の感染状況 資料1のP1~8=特徴としては第4波に比べ急激に陽性者数が増えていること、65歳以上の患者数が明らかに減少していることがあります。P9=8/4にPCR陽性者割合が10%を超えており、現在StageⅢとⅣの間にある状況であること。P14=国は医療逼迫を避けるため自宅療養を増やしていく方針であるが、福岡県は宿泊療養施設（いわゆるホテル療養）を増やし自宅療養はなるべく増やさない、あとは軽症者のうち重傷化リスクの高いものをなるべく宿泊療養施設を使用するようにして医療機関の負担を減らすことをめざしているとのことでした。現在宿泊療養施設は第4波のピークよりも増やしており、JMATでの協力をお願いしますとのことでした。
- ② 課題と今後の対応 資料2-1、2-2 結論として今後患者の大幅な増加の可能性がある。病床を増やすことは難しいところがある。今後は宿泊療養施設を増加して軽症と軽症のうち重症化リスクの高いものが病院に入らず宿泊療養施設に入るようにすることで患者の増加に対応することを考えたい。そのため後で出ますが患者の酸素飽和度がきちんとわかるようにしていただきたいとのことでした。
- ③ 発生届（別紙） 資料2-3 8枚目がもともとの新型コロナウイルス発生届になりますが、小さくてわかりづらい、書いていないことがあるなどの難点があり、特に酸素飽和度がわからず重症度がわからないことがあるとして、福岡県独自に追加で発生届（別紙）というものを作成し同時に提出をお願いしている。=7枚目北筑後保健所に確認したところすでに運用を開始しているが提出してもらえるときとももらえないときがあり、できれば発生届がHER-SYSを使うのかFAXで送るのかにかかわらず、発生届（別紙）を追加でFAXにて送っていただきたい、宿泊療養施設への病状の連絡などで使用することがあるとのことでした。
- ④ 自宅療養者と宿泊療養施設の方の診察処方について 資料2-4 新型コロナ陽性者の自宅療養者、施設内での療養者については病状悪化や投薬が必要な場合に受診による診察治療及び往診をする医療機関及び宿泊療養施設の方の受診を受ける医療機関を診察検査医療機関の中からアンケートで可能である医療機関を乗せたのがその次の表で北筑後保健所管内は休日夜間に対応する医療機関が無い状態です。
- ⑤ 公費負担 資料3 上記のコロナ陽性者に対して受診による診察、往診を行う医療機関は公費負担医療になるため、資料3の内容を確認の上請求をしてください。
- ⑥ 補助金 資料4 新型コロナ関連の補助金について期限が迫っているものがいくつかあります。資料4にまとまっていますのでご確認ください。